

第2回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会

日時：平成21年8月4日（火）13:30～15:30

場所：揖斐川町中央公民館 会議室

議 事 次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 第1回推進協議会の議事概要について

(2) H20年度の活動報告について

(3) H21年度の活動予定について

(4) その他

4 閉 会

第2回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会

【配布資料一覧】

資料 1 第1回推進協議会の議事概要

資料 2 H20年度 生命の水と森の活動センターの活動報告

資料 3 H20年度 中核プロジェクト以外の活動報告

(3-1) 徳山ダムの活動報告 (徳山ダム管理所)

(3-2) 平成20年度 水の習慣施設見学会 開催報告

(水資源機構中部支社)

(3-3) 横山ダム < 2009 森と湖に親しむ旬間 >

(横山ダム管理所)

(3-4) 平成20年度 木曾三川水源林保全体験の実施状況

(名古屋市上下水道局)

(3-5) 自然にこだわる揖斐の旅」リーフレット

(揖斐川町商工会)

資料 4 H21年度 生命の水と森の活動センターの活動予定

資料 5 H21年度 中核プロジェクト以外の活動予定

参考資料 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

別 紙 揖斐川水源地域ビジョン リーフレット「生命の水と森の物語」^{いのち}

第1回 揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 議事要旨

日時：平成20年8月12日（水）13:30～15:00

場所：^{いのち}生命の水と森の活動センター

1. 開会

2. 挨拶（揖斐川町長）

3. 議事

- ・ 推進協議会設立会議の審議結果等について
- ・ 活動センターの設立について
- ・ 活動センターの平成20年度の事業計画について
- ・ 報告事項（徳山ダムの管理について、中核プロジェクト以外の取組予定について）
- ・ 弾力的な運用調査計画（案）
- ・ 今後のスケジュールについて

<主な内容>

- ・ 揖斐川水源地域ビジョンの呼称（キャッチフレーズ）については、「^{いのち}生命の水と森の物語」とする。
- ・ ビジョンの情報発信として、ビジョンに参加している各団体が、それぞれのホームページに活動センターのホームページとリンクを貼るといったことなど、広報活動に協力していく。（8月末に活動センターのホームページを開設予定。）**言**
- ・ 今後のスケジュールについて、**資料-8**のとおり進めていくことで確認した。

4. 閉会

平成20年度 ^{いのち} 生命の水と森の活動センター事業実績報告書

(平成21年3月31日現在)

1 水源地の自然環境保全事業

(1) 水環境の保全事業

① 徳山ダム上流保全利用協議会開催 2回

内容：関係機関と連携を図り情報を共有し、効率的かつ迅速な水源地保全・利用を図るため協議会開催の支援をした。

回数等：2回開催

- 設立 7 / 28 ● 12 / 2
- 幹事会 10 / 22 ● 12 / 2



② 揖斐川上流清掃活動の支援

内容：NPO揖斐自然環境レンジャーなど団体と協働して、揖斐川上流域の清掃活動を実施した。

回数等：4回

- 9 / 20 新川尻橋～イビデン取水口ダムの約10km間の清掃・パトロール活動 (NPO揖斐自然環境レンジャー、揖斐川上流漁業協同組合と協働60名参加)
- 10 / 5 夜叉ヶ池登山道クリーン活動 (NPO揖斐自然環境レンジャーと協働30名参加)
- 11 / 5 冠林道清掃 (職員)
- 11 / 13 ホハレ峠周辺清掃 (職員)



(揖斐川上流清掃作業)

(2) 森林の保全事業

① 広葉樹の植樹・間伐

内容：荒廃森林、工事跡地などの無立木地に広葉樹（郷土産のクリ、ブナ、トチノキ等野生動物の食餌木を主体）の植栽、下刈を行った。

回数等・①木の実の採取 「秋に随時」

- 9月上旬～10月中旬 木の実採取 クリ、コナラ、トチノキ、オニグルミ約5,000粒採取

②苗木の造成 「4月～3月」

- ブナ、コナラ、ミズナラ、トチノキ、クリ、オニグルミの苗木約700本養成中 ((NPO揖斐自然環境レンジャーと協働)
- 11 / 3 クリ、コナラ、トチノキ、オニグルミ約3,500粒播種

③植樹・保育 (下刈) 各1回 「6月・11月」

- 6 / 24 コア山 (H17.19 植栽地及び塚地区 H18 植栽地) の下刈作業実施14名 (NPO揖斐自然環境レンジャーと協働)

(苗畑での苗木育成作業)



(コア山 H19 植栽地の下刈作業)



● 11 / 3 実のなる木を植えよう大作戦 (コア山) 88名参加
(コア山での実のなる木植栽)



● 11 / 16 イビデンの森 植樹祭植栽支援 (東横山)

参加者：約200名

(植樹活動支援)

(木の实を活用したクラフト体験)



④水源地域森林調査 (植栽・間伐予定地等森林調査)

● 7 / 16 (ホハレ峠～門入地域)

● 11 / 13 (ホハレ峠～門入地域)

(3) 自然生態系の保全

①外来生物法研修会

内 容：外来生物法で定める規制種の移入防止を図るための研修会を実施した。

回数等：1回（流域住民、ダム管理関係者等対象） ●1月21日 72名参加

②外来種移入防止PR活動

内 容：観光客などに対する外来種移入防止のためのPR活動を実施

回数等：クリアファイルを配布してPR活動を実施した。



(特定外来生物移入防止研修会)



2 自然環境保全教育・研修事業

(1) 体験学習事業

①活動センター主催の体験活動

(特定外来魚移入防止クリアファイル)

内 容：徳山ダム周辺の優れた自然環境を活用した体験学習を通じて水源地の重要性、自然生態系の大切さを普及した。

回数等：◇森林作業 2回 ●下刈：6/24 ●植栽：11/3

NPOなどと協働

◇炭焼き体験 1回

●竹炭：7月5日 参加28名
(ドラムカン式炭窯での竹炭焼き)

◇森とのふれあい体験

巨樹巡り体験1回 ●8/1
参加34名 揖斐川水源地見
学ツアーと併催

◇雪と遊ぶ体験 1回

●1/24・25 12名参加

◇木工クラフト教室 1回

(炭焼き体験)

●10/13 68名参加

◇環境学習



ダム機能学習教室 1回

● 8/27 26名参加

徳山 ダム水源地域見学ツアーと併催

計 7回

③小中学校等体験学習支援

内 容：徳山ダム周辺の優れた自然環境を活用して、小中学校児童生徒などとした体験学習を通じて水源地の重要性、自然生態系の大切さを普及した。

(巨樹巡り)

回数等：23団体（ふじはし星の家利用者等：町内など10校の体験学習の支援）

● 5/29～7/11 揖斐川町内小学校 5校 8日 249名(延べ)
(間伐体験・流木クラフト、布ぞうりり、天体学習等体験)

● 5/5～1/25日

県内、下流縣市スポーツ少年団など各種団体

18団体 23日 796名(延べ)

(間伐体験、自然観察、流木クラフト、森林学習等)



(間伐体験)



(流木クラフト作品例)



(野鳥学習)



(天体学習)



(木の実・流木を活用したクラフト)



(布ぞうり体験)



(水源地域の森林学習)



(自然観察)

③登山道標識整備 (花房山 標高：1190m)

内容：小中学校児童生徒の登山体験学習に花房山を組み入れるための調査・検討及び標識の整備を行った。 回数等：2回

- 9 / 10 花房山登山道現地調査
- 3 / 26 登山道標識作成



(花房山山頂山容)



(注意標識など50枚)

④体験活動機械器具・施設整備

内 容：体験学習にヘルメット、鋸・カマ・木工工作工具、ドラムカン式炭窯、輪かんじき、スノーシューなど機械器具を整備した。

回数等：20年度活動に必要なものの整備



(ドラムカン式炭窯3基)



(流木クラフト台10台)

⑤テキスト、人材整備

内 容：体験学習に関するテキスト、揖斐川町約8800世帯にチラシを配布して、ボランティア（水源地域サポーター）を募集して人材育成を行った。また、揖斐川水源地域のポストカード（植物シリーズ）を発行した。

回数等：15名登録

●9/1～2

福山平成大学小谷寛二 教授の指導（現地指導及び河川・ダム湖を活用した自然体験活動講演[36名参加]）



(自然体験講演・意見交換会)

⑥水と森の学習館PR活動

内 容：水と森の学習館PR活動を行う。

回数等：ダム見学者（106団体）及び下流域企業、団体に対してPR活動を実施した。

- 【主なもの】
- 4/26.27、5/10.11 内覧会開催（西濃館内教育関係者など）
 - 5/10 水と森の学習館パンフレット印刷
 - 6/1 なごや 水フェスタ参加 PR（名古屋市）
 - 6/5 ぎふプレゼンテーション参加（ 〃 ）
 - 11/15 エコ市参加 （ 〃 ）
 - 12/9 中部経済連合会等名古屋市4機関（ 〃 ）

● 2 / 2. 4 町内建設業団体、企業（揖斐川町）



(なごや 水フェスタ)



(ぎふプレゼンテーション)

⑦水源地の水の一滴塾

内 容：水源地の水の一滴塾（塾頭：菅原文太氏）が行う、水源地域の環境学習活動を支援するために必要なヘルメット、環境パトロール用腕章などの用具を整備した。

回数等：当面必要な用具

⑧徳山ダム見学会

内容：個人、団体が、水と森の学習館、徳山ダムでダム機能学習を行う場合にその支援をした。

回数等：随時

● 8月1日～3月31日 ダム現地見学案内 113団体 3,294名

●徳山ダム現地見学案内者数

8月	9団体	278名	(男：134名 女：144名)
9月	13団体	416名	(男：176名 女：240名)
10月	37団体	1,106名	(男：611名 女：495名)
11月	44団体	2,555名	(男：742名 女：513名)
12月	3団体	51名	(男：50名 女：1名)
1月	0団体	0名	(男：0名 女：0名)
2月	1団体	17名	(男：7名 女：10名)
3月	6団体	171名	(男：27名 女：144名)
累計		113団体	3,294名(男：1,747名 女：1,547名)

⑨エコツアー現地調査

内 容：豊かな自然環境と地域資源の活用による「学びの場」の環境づくりのための調査検討を実施した。

回数等：2回 ● 7 / 16、11 / 13 現地調査

(2)研修促進事業

企業等の活用促進調査

内容：徳山ダムを核とした豊かな自然環境を活用して、環境・水・森を軸とした企業研修を促進するための調査・検討を実施した。

回数等：3回

- 12 / 9 中部経済連合会等名古屋市4機関（名古屋市）
- 2 / 2. 4 町内建設業団体、企業（揖斐川町）

(3)健康と安らぎ事業

健康増進調査

内容：水辺環境や森林空間での遊び、森林浴、ウォーキングなどを通じて健康と安らぎの場の活用を推進するための調査を実施した。

セラピー、ウォーキングロード整備調査・検討

回数等：2回

- 8 / 24 徳山会館～上開田 町道調査 3km（40分コース）
- 9 / 13 新川尻橋～東杉原 町道調査 7km（1時間40分コース）

3 水源地を活用した調査・研究協力事業

研究機関の調査・研究活動支援

内容：広大な徳山ダム湖、水源地の森林などをフィールドとして大学、企業、県など研究機関の活用を促進するため調査を実施した。

回数等：1回

- 11 / 27 岐阜県河川環境研究所

4 治水・利水及び水源地域の環境保全の重要性普及啓発事業

活動を通じた上下流交流、教育交流

①徳山ダム水源地域見学ツアー

内容：下流のNPOや一般住民及び小中学校児童生徒の水源地の見学会を通じて、水源地の環境の創造・水源地域のPRや人材の育成を実施した。

回数等：随時

- 8 / 1 徳山ダム水源地域見学会 参加：34名
- 8 / 27 木曾三川水源林保全体験会 参加：26名



(水源地域見学会・・・森林学習、自然探索) (水源林保全体験会・・・間伐体験)

②交流イベント

内 容：町内観光・交流施設連携のため、国土交通省「水源地対策アドバイザー」の支援を受けた、また、地域のイベント「藤橋どんどん秋祭り」に参加し、木工クラフト、パネル展示を実施した。

回数等：支援3回、イベント参加1回

- 7/23～25、9/24～26、
12/16～17水源地対策アドバイザーの支援
- 10/13 「藤橋どんどん秋祭り」に参加



(藤橋どんどん秋祭り)

5 自然を活用した水源地の活性化事業

①グリーンツーリズム推進調査

内容：水源地を活用した観光地づくりの一つ、グリーンツーリズムを促進するための調査を実施した。

回数等：2回

- 「 ● 9/25、11/13 現地調査」



(グリーンツーリズム調査)

②観光ツアーのPR

内 容：観光エージェントなどへのPR活動、町内観光交流施設の連携を図るための、ワークショップを開催して検討をした。

回数等：PR活動3回、ワークショップ2回

- 6/ 1 名古屋水フェア参加PR (名古屋氏)
- 6/ 5 ぎふプレゼンテーション参加PR (名古屋市)

- 9 / 25 町内観光交流施設連携のためのワークショップ開催 20名参加



(交流・連携ワークショップ)

- 11 / 16 エコ市参加PR (名古屋市)
- 12 / 16 町内観光交流・体験関係者のワークショップ開催 (22名参加)

6 情報収集・発信事業

徳山ダムや水源地域の治水・利水上の役割、必要性など水と森の大切さ及び活動センターの水源保全などの活動内容の情報発信を実施した。

①ホームページなどによる 情報発信

内容：徳山ダム資料室／水と森の学習館、生命の水と森の活動センター HPによる情報発信 (<http://www.inochinomizutomori.or.jp>)

回数等：随時 (11月5日～情報発信中)

②水源地域遭難対策

内容：入り込み者の増大に伴う、水源地域入山者の遭難対策について、関係機関の担当者と意見交換を実施した。

回数等：2回

- 5 / 29
- 10 / 8

③徳山ダムやダム関連施設の総合案内

内容：徳山ダム資料室／水と森の学習館利用者などに対して、徳山ダムやダム関連施設、町内観光施設などの総合案内を実施した。

回数等：4月20日～3月31日

- 4月20日～3月31日 累計 5,932名

(水と森の学習館利用者への徳山ダムなどの総合案内の実施)

●水と森の学習館利用者

4月	1 6 4名	(男：1 2 1名 女： 4 3名)
5月	5 7 6名	(男：2 1 2名 女：3 6 4名)
6月	1 9 3名	(男：1 0 0名 女： 9 3名)
7月	3 1 0名	(男：1 9 3名 女：1 1 7名)
8月	9 0 7名	(男：4 4 7名 女：4 6 0名)
9月	4 0 5名	(男：2 0 6名 女：1 9 9名)
10月	1, 3 8 7名	(男：7 7 1名 女：6 1 6名)
11月	1, 5 8 8名	(男：9 3 8名 女：6 5 0名)
12月	1 1 3名	(男：1 1 0名 女： 3名)
1月	2 3名	(男： 1 9名 女： 4名)
2月	3 4名	(男： 2 2名 女： 1 2名)
3月	2 3 2名	(男： 6 9名 女：1 6 3名)
累計	5, 9 3 2名	(男： 3,208名 女： 2,724名)

平成20年度 水の週間施設見学会 開催報告

開催日 平成20年8月1日（金）（別添「行程表」参照）
主催 岐阜県、水資源機構中部支社
参加者 ガールスカウト岐阜県第8団、御嵩テニス、鈴木道場 関柔道スポーツ少年団、七宗町子ども会、垂井町少年少女合唱団 計34名（別添参照）

概要 毎年8月1日は「水の日」、8月1日から始まる1週間が「水の週間」となっています。この機会に、日頃はあまり見る機会のないダムなどの施設見学会を実施しています。

平成20年度は、岐阜県揖斐川町にある「徳山ダム」の見学会を実施しました。例年は、施設見学のみでしたが、今回は新しい取り組みとして、地元の「(財)いびがわ生命の水と森の活動センター」のご協力により、徳山ダム湖周辺の山で「森林学習及び自然探索」を行いました。



ビデオで徳山ダムの勉強



ダム湖周辺の遊歩道で森林学習



樹齢数百年といわれる「しろびや杉」を見学



「しろびや杉」の幹と同じ長さのわら縄で木の大きさを体験



徳山ダムの見学



参加者全員で記念撮影

横山ダム＜2009森と湖に親しむ旬間＞

横山ダムは木曾川水系揖斐川の上流に位置し、治水、発電利水の目的でS39年に完成した中空重力式コンクリートダムで、ダム内部が空間となっている珍しいダムです。

毎年7月21日～31日の間の「森と湖に親しむ旬間」に於いて、我が国でも13ダムしかないこの中空ダムの内部空間を利用した広報活動を実施いたしました。

また、今年度は、全国のダムマニアで組織している「Dam Web Ring」の参加を得、ダム写真展等の取り組みも実施しました。7月31日時点の総参加者は、約5百人予定です。

- ・7/26イベント :約220名、夜叉ヶ池祭り :約70名
- ・魚の放流 :関係者含め約80名
(22日坂内小11名、山郷倶楽部15名
24日北方小9名、31日北方小4名)
- ・ダム見学者(7/21～31日) :約60名



中空重力式コンクリートダムの内部空間



ダム内部空間でハンドベルで音を楽しむ様子

ハンドベルを用いて堤体内の音響を楽しんでもらいました。特に、ハンドベルは小さい子供からお年寄りまで大変好評でした



横山ダム事務所玄関による写真展
(ダムマニア)

横山ダム事務所玄関にてダムマニアが撮影した全国のダムや揖斐川流域ダムの写真パネルを展示し大勢の方が足を止め写真を見入っていました。



水の力を模型により実験している様子



ダムの水の力を理解してもらうため、水をトイに流し、流し出す高さや水量で水の力が変わる様子を観察し、ダムが川の水を発電に利用する仕組みを学んでもらいました。

＜夏休みの自由研究を意識した取り組み＞

夏休みの宿題のひとつとして提供出来るよう、ダム内部の温度の違いや、音響の測定、水の力の違いについて記述できるよう小冊子を手作りで作成し、出来るだけ子供たちがダムに関心を持てるよう工夫して森湖期間中取り組みました。



各種実験を記録するための小冊子



流木による工作体験の状況



大声コンテストの状況



堤体内に設置した温度計

＜工事施工業者による取り組み＞



環境護岸にてアマゴの放流をしている様子

横山ダム工事事務所では、再開発事業を実施しており、その施工業者も今回の取り組みに賛同して頂き、ダム湖上流部で、地元小学生による魚の放流を実施しました。



＜新聞掲載 中日・岐阜＞

取り組みに関する記事
(著作権の都合により省略)

これら取り組みの一部が地元新聞記事に掲載されました。

岐阜新聞 7/25

中日新聞 7/25

このほか、地元の「夜叉ヶ池伝説道中まつり」との連携も実施しました。

平成 20 年度 木曾三川水源林保全体験の実施状況

名古屋市上下水道局

1. イベントの趣旨

給水区域内在住の方を対象に、本市水源施設周辺の山林（水源林）での間伐作業等の体験を通して、水源林の大切さや森林整備の重要性を理解していただく。

2. 実施内容

- ・ 参加者：給水区域内在住の小学 4～6 年生と保護者 29 名
- ・ 実施日：8 月 27 日（水）
- ・ 場 所：岐阜県揖斐郡揖斐川町（旧藤橋村）(社)社木曾三川水源公社の分収造林地
- ・ 徳山ダム
- ・ 内 容：のこぎりを使った間伐作業体験、徳山ダムの見学
- ・ 参加費：100 円/人（保険料相当分）
- ・ その他：イベント開催に当たっては、揖斐郡森林組合はじめ(社)木曾三川水源造成公社、生命の水と森の活動センター、水資源機構徳山ダム管理所の方々にご協力いただきました。

3. 行程

時 間	内 容
9:00	市役所発 観光バスにて移動 車中で水源林整備の重要性について説明
11:30	現地着 バスから降りて徒歩で移動
11:40	分収造林地着 間伐作業体験
12:40	分収造林地発 途中、ふじはし星の家にて昼食休憩
14:00	徳山ダム着 ダム見学
14:30	徳山ダム発
17:00	市役所着

4. 間伐作業体験の内容

- ・ 参加者の方を 6 名ずつ 5 つのグループに分けて作業を実施(各グループに 1 名、指導員として森林組合員の方についていただく)
- ・ 親子 3 組でノコギリを使って順番に木を切り倒す
- ・ 森林組合員の方のチェーンソーによる間伐作業を見学

5. 21 年度の予定（20 年度と同様の内容）

- ・ 日時：平成 21 年 8 月 29 日（金）
- ・ 場所：揖斐高原貝月リゾート付近の造林地、徳山ダム
- ・ 人数：給水区域内在住の小学 4～6 年生と保護者 20 組 40 名

平成21年度^{いのち}生命の水と森の活動センター事業計画進捗状況

(平成21年7月26日現在)

●実施済み

【事業の概要】

1 水源地の自然環境保全事業

(1) 水環境の保全事業

① 徳山ダム上流域保全利用協議会

内容：関係機関と連携を図り、情報を共有し、効率的かつ迅速な水源地の保全・徳山湖の適正利用を図るため協議会開催の支援をする。

開催回数等：2回開催予定（協議会・幹事会各1回）

（設立：H21.7.28 予定：9月・10月）

② 水源地域清掃活動

内容：NPO揖斐自然環境レンジャーなど団体や流域住民と協働して、揖斐川上流域の清掃活動を実施する。

実施回数等：清掃活動5回

（揖斐川流域クリーン大作戦 5月、揖斐川上流水源地域クリーン活動「対象区域：横山ダム湛水池上流～冠峠」予定：9月、夜叉ヶ池登山道クリーン活動予定：10月、冠山登山道クリーン活動予定：10月、門入クリーン活動「ホハレ峠～門入地域」予定：8月）

「●5/31 揖斐川流域クリーン大作戦（学習館上流約3km間）40名参加」

③ 水源地域パトロール活動

内容：揖斐川町と協働して、徳山ダム上流域の植物採掘、廃棄物の不法投棄防止などの環境パトロール活動を実施する。

実施回数等：原則 毎週2回（予定：5月～12月）

「●5/8～ 26回実施」



（揖斐川流域クリーン大作戦）



（環境パトロール）

(2) 森林の保全事業

① 広葉樹の植樹、間伐

内容：荒廃森林、工事跡地などの裸地、人工造林地の不成績林分に広葉樹（郷土産のクリ、トチ、ナラ、ブナなど野生動物の食餌木を主体に）の植栽、保育を図る。

実施回数等：

◇木の実の採取 「秋に随時」

◇苗木の養成 「随時」

「●4/1～ブナ、コナラ、ミズナラ、オニグルミ、クリ、トチノキ約1,500本養成中」
・植栽・保育（下刈など）各1回「7月：下刈、植栽予定：11月」（体験活動と併催）

NPO揖斐自然環境レンジャー、ダム管理所などと協働して植樹・下刈活動

「●7/24 下刈（「コア山（H17.19.20 植栽地）・塚地区（H18 植栽地）」



(コア山植栽地下刈)

(塚地区植栽地下刈)

◇水源地域森林調査 随時（植栽場所等森林の現況調査の実施）
 「●6月5日、6月11日」

②苗木のホームステイ

内容：水源地の「木の実」を播種して発芽した実のなる木の小苗を、下流域の小学生に預けて育成してもらい、その苗木を秋に水源地域に植栽をしてもらう。

（NPO揖斐自然環境レンジャーと協働）

実施回数等：3校（春：定植活動、間伐材のプランターBOX作り 秋：植栽活動）

「●4月21日北和中、4月23日久瀬小、5月12日北方小 参加：76名 苗木120本」



(苗木のホームステイ・・・定植作業)



(苗木育成中)

③企業と協働した森林づくりの支援

内容：イビデン株式会社、揖斐川町、岐阜県、NPO揖斐自然環境レンジャー、地元住民などが協働で行う、地球環境保全のための「イビデンの森」づくり活動を支援する。

実施回数等：3回（植栽：春、下刈予定：7月、9月）

「●4月20日植栽、●7月11日下刈・歩道整備」



(ヤマザクラなど植栽)



(下刈作業)

(3) 自然生態系の保全事業

① 特定外来生物移入防止研修会の開催

内容：外来生物法で定める、特定外来魚の移入防止をみんなで守るための、知識の向上と移入防止の理解を深めるための研修会を行う。

実施回数等：1回（流域住民、ダム管理関係者など対象 予定：1月）

② 観光客などに対するPR活動

内容：特定外来生物移入防止のため、環境パトロール、リーフレット（クリアケース）・HPなどを通じたPR活動を行う。

実施回数等：随時

「●4/1～ 実施中、●5/8～環境パトロール実施中 26回実施」

(2) 自然環境保全教育・研修事業

(1) 体験学習事業

① 活動センター主催の体験活動

内容：活動センターが主催した自然体験学習を実施する。

実施回数：9回

内訳：森林作業体験 1回（NPO等と協働「7月：下刈 植樹予定：秋」）

炭焼き体験 2回（予定：8月）

森とのふれあい体験

巨樹巡り（1回 揖斐川水源地見学ツアーと併催「予定：8月」）

水とのふれあい体験

川遊び 1回（予定：8月）

雪とのふれあい

雪あそび 1回（予定：1月）

ものづくり体験

木工クラフト 1回（予定：10月）

環境学習

ダム機能学習教室（揖斐川水源地域見学ツアーと併催「予定：8月」）

天体学習教室 1回（予定：1月）

② 小中学校等体験学習支援

内容：体験学習宿泊施設「ふじはし星の家」利用者等の自然体験学習を支援する

実施回数等：予定：30回

◇小中学校体験学習支援

「●4/8～ 7校755人（延べ）」

◇スポーツ少年団等団体体験学習支援

「●4/11～ 9団体213名（延べ）」



(竹炭焼き体験)



(マイ箸づくり体験)



(登山体験)



(川遊び体験)

③登山道標識整備 (花房山)

内容：徳山ダムが一望できる花房山 (標高 1,190m)・杉原山 (標高 789m) への登山を小中学校生徒体験学習に組み入れるため調査・標識など整備をする。

実施回数等：随時 「●5/3～ 8回」

④体験活動機械器具・施設整備

内容：体験学習等に必要な機械器具 (森林作業・野鳥観察・冬の森観察・ものづくり・川の体験などに必要なもの) を整備する。

実施回数等：活動に必要なものを順次整備

「●4/10～作業台、ライフジャケット等購入」



(花房山登山道改修)

(子供用ライフジャケット整備)



⑤体験学習のためのテキスト等整備

内容：体験学習に必要な図書・テキスト・DVDを購入する。

実施回数等：随時

⑥水と森の学習館PR活動

内容：水と森の学習館（徳山ダム資料室）を広く下流域住民に理解を得るため、各種イベントなどに参加して、PR活動を実際する。「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時（各種イベントなど参加して、PR活動を実施する）

- 「●6/4ぎふプレゼン（名古屋市）、
- 6/7名古屋水フェア（名古屋市）参加PR」
- 6/22～7/15 近隣8市町教育委員会
・112小中学校へのPR」



⑦水源地の水の一滴塾活動支援

内容：水源地の水の一滴塾（H19.3 設立 塾頭菅原文太氏）が揖斐川水源地域などで行う環境学習活動等の支援をする。

実施回数等：随時

⑧徳山ダム見学会

内容：団体が「水と森の学習館」、「徳山ダム」でのダム機能・環境保全への取組み、徳山ダム学習等を行う場合に支援をする。

実施回数等：随時（事前申込者対象）



●徳山ダム現地見学案内者数（7/26現在）

4月	12団体	351名	（男：134名 女：217名）
5月	27団体	788名	（男：355名 女：433名）
6月	32団体	1,032名	（男：472名 女：560名）
7月	24団体	777名	（男：342名 女：435名）
累計	95団体	2,948名	（男：1,303名 女：1,645名）

（徳山ダム見学案内）

⑨エコツアー現地調査

内容：豊かな自然環境と地域資源の活用による「学びの場」の環境づくりのため、源流の溪流や天然林をガイド付きで案内する「（仮称）いび川徳山源流の森観察ツアー」の実現に向けて、調査・検討を実施する。「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時（23年に試行を目標に調査・検討の実施）

- 「●6月5日、6月11日源流の森現地調査」



（観察ツアー現地調査）

②研修促進事業

■広く三県一市の経済界を含めた諸団体との連携のもと、豊かな自然景観を活用して、環境・水・森を軸に据えた研修の場としての活用を促進していく。

■取組み内容

◇企業等の活用促進調査

・企業等訪問調査

内容：徳山ダムを核とした豊かな自然環境を活用して、環境・水・森を軸とした企業研修を促進するための調査・検討を実施する。

実施回数等：随時（研修の場としての活用を推進するためカリキュラム・実態調査・PR）

③健康と安らぎ事業

■水辺環境や森林空間での遊び、森林浴、ウォーキングなどを通じての、健康と安らぎの場としての活用を推進する。

■取組み内容

◇セラピー、ウォーキングロード整備調査

内容：揖斐川水源地に、「①ウォーキングコース、②人とイヌとのふれあいウォーキングコース」設定のための調査・検討を行う。「揖斐川町と協働」

実施回数等：随時

(3)水源地を活用した調査・研究協力事業

■広大なダム湖、水源地の森林などをフィールドとして活用した大学、企業、県など研究機関が行う調査・研究活動の展開を支援する。

■取組み内容

◇研究機関の調査・研究活動支援

内容：大学、企業、県などの研究所の研究・試験地の提供のための、意向調査・PR活動を実施する。

実施回数等：随時（大学など訪問情報提供）

(4)治水・利水及び水源地の環境保全の重要性普及啓発事業

①活動を通じた上下流交流、教育交流

■揖斐川上流、下流のNPOや一般住民及び小中学校児童生徒が植樹・間伐、総合学習などの体験活動を通じて、よりよい水源地の環境の創造を推進する。また、水源地のPRや環境活動・体験活動を増進するための人材を育成する。

■取組み内容

◇徳山ダム水源見学ツアー

内容：下流域の小学生親子の徳山ダム水源地域の見学や間伐など水源林保全体験会を下流関係市やダム管理者と協働で実施する。

実施回数等：2回（予定：8月）

◇水と森の感謝祭り

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、「水と森の感謝祭（仮称）」を開催する。

実施回数等：1回（予定：7月29日、31日）

◇水源地域のPR

内容：揖斐川町、ダム管理者などと連携して、各種イベントに参加するなど揖斐川水源地域の取り組み等のPR活動を行う。

実施回数等：随時

「●6/4ぎふプレゼン（名古屋市）、6/7名古屋水フェア（名古屋市）参加PR」

◇水源地サポーターなど人材育成

内容：水源地域の活動を「みんな支え・育てる」ためのサポーター（ボランティア）を募集・育成を行う。

実施回数等：随時

「●H21年3月～募集中（15名登録活動中、
7月18日指導者研修会開催）」



（川の体験学習指導者研修会）

(5) 自然を活用した水源地域の活性化事業

■揖斐川町、商工会、観光協会、町内の体験交流施設等と連携して、徳山ダムと既存の観光拠点を結ぶネットワークの形成、魅力ある水源地域の観光ツアーを旅行会社などを対象にPR活動を行う。

■取組み内容

◇グリーンツーリズム推進調査

・拠点施設のネットワークづくり

内容：町内の観光・体験交流施設の情報の一元化・役割分担を進め、緩やかなネットワークを形成づくりを推進するため、「いび川水縁フォーラム（仮称）」を設立し、モザイク的プロジェクトを展開していく。

実施回数等：随時（22年度に試行を目標に交流・連携を検討）

◇観光ツアーの内容PR

内容：町内の観光施設と徳山ダム・揖斐川水源地を活用した体験活動施設等を連携した「観光ツアー」を推進するためのPR活動を行う。

実施回数等：随時（揖斐川町・観光協会などと連携）

「●6/4ぎふプレゼン（名古屋市）」

(6) 情報収集・発信事業

■徳山ダムや水源地域の治水・利水上の役割、必要性など及び森と水の大切さやおいしい水の源並びに活動センターの活動内容など情報を発信して上下流交流活動の促進、PRを図る。

■取組み内容

◇ホームページ等による情報発信

内容：徳山ダムや水源地域の自然、活動センターの体験学習活動などをホームページや会報を通じて、情報発信を行う。（<http://www.inochinomizutomori.or.jp>）

実施回数等：常時

◇水源地遭難対策

内容：水源地域への入り込み者が増大していることから、遭難対策について、関係機関との情報交換を行う。

実施回数等：常時（予定：9月）

◇徳山ダムやダム関連施設の総合案内

内容：水と森の学習館／徳山ダム資料館の利用者に対して、徳山ダムの機能・ダム関連施設、町内観光などの総合案内を行う。

実施回数等：常時

●水と森の学習館／徳山ダム資料館利用者数(7/26 現在)

4月 549名(男：257名 女：292名)

5月 1,341名(男：646名 女：695名)

6月 1,276名(男：606名 女：670名)

7月 1,652名(男：779名 女：873名)

累計 4,818名(男：2,288名 女：2,530名)



(水と森学習館利用状況)

揖斐川水源地域ビジョン推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、「揖斐川水源地域ビジョン推進協議会」（以下「協議会」という）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、揖斐川水源地域ビジョンに基づき、徳山ダム上流域を核とする揖斐川水源地域を流域全体の貴重な財産と位置づけ、水源地域だけではなく、治水・利水の恩恵が及ぶ広域の人達が参画し、揖斐川水源地域の豊かな自然環境を保全するとともに、適切なダム管理との整合を図りながら、広大な自然環境、地域の伝統文化、多様な観光資源等の積極的な利活用を図るため、流域住民、NPO 法人や企業等の各種団体、関係行政機関、水源地域自治体、ダム事業者等が一体となって、個々の役割を果たすとともに、相互の連携・協力の下、ビジョンの着実な推進を図り、もって水源地域の自立的、持続的な活性化に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、以下の項目について実施するものとする。

- (1) ビジョンに位置付けた施策の実施状況の確認
- (2) 着実かつ効率的なビジョン推進のための協議・調整
- (3) 生命の水と森の活動センターの事業内容に関する確認や助言・指導及び活動協力
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(組織等)

第4条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。但し、協議会の中で了解を得たうえで、運営上必要な委員の増減を図ることができる。

- 2 組織の改編等により委員の組織及び職名等が変更となった場合は、組織及び職名等を新たな組織及び職名等に読み替え、その職に就いた者が、協議会の委員を継承する。

(協議会の招集及び成立)

第5条 協議会は、事務局がこれを招集し、揖斐川町長が議長を務める。

2 協議会は、委員の過半数の出席を持って成立する。

3 委員がやむを得ない事由により会議に出席できないときは、代理人を出席させることができる。

(協議会の開催)

第6条 協議会は、原則として年1回開催する。その他、必要に応じて適宜開催することができる。

(公開)

第7条 協議会は、原則として公開とする。

2 ただし、議長が必要と認めた場合には非公開とすることができる。

(事務局)

第8条 協議会の事務局は、揖斐川町に置くこととし、事務局の運営に関し必要な事項については、独立行政法人 水資源機構 徳山ダム管理所が協力して実施するものとする。

(雑則)

第9条 本規約に定めのない事項については、協議会において別途定める。

付則

この規約は、平成20年2月13日から施行する。